

< 農業生産法人、集落営農組織の育成を目標としている事例 >

## より一層の集落の活性化を目指して

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	青森県 <small>そとがはままち</small> 外ヶ浜町 <small>おおだい</small> 大平			
協定面積 60.6ha	田(100%) 水稲、そば、山菜	畑	草地	採草放牧地
交付金額 484.9万円	個人配分			40 %
	共同取組活動 (60%)	担当者活動経費		4 %
		体制整備に関する活動経費		10 %
		農用地維持管理活動経費		21 %
		交付金の積立・繰越		15 %
その他(事務費等)		10 %		
協定参加者	農業者 56人、非農業者 9人			

### 2. 取組に至る経緯

当集落は以前から仲がよかったが、農業の持続や発展や集落の活性化等を目指して、平成12年から本制度に取り組んでいる。

### 3. 取組の内容

協定農用地内には休耕田が多くあることから、耕作放棄地の解消に向け、建設機械で排水を整備し、山菜等の栽培を行っている。また、集落内には稲作や他の作業を行える大型機械が多数あることから、機械バンクを設立し、機械の共同化と作業受託を行っている。担い手の育成も急務であることから認定農業者を3名確保したほか、平成19年3月には集落営農組織「大平営農組合(農家数39戸)」を設立した。

その他、伝統行事の復活にも取り組み、平成20年には春の花見会と「御山参詣おやまんけい(津軽地方の伝統行事で、旧暦8月1日に登山囃子を奏でながら岩木山に登ってご来光を拝み、五穀豊穡を祈願する)」を行った。



夏秋いちご栽培を行っているハウス



御山参詣に集まった参加者

### [ 集落の将来像 ]

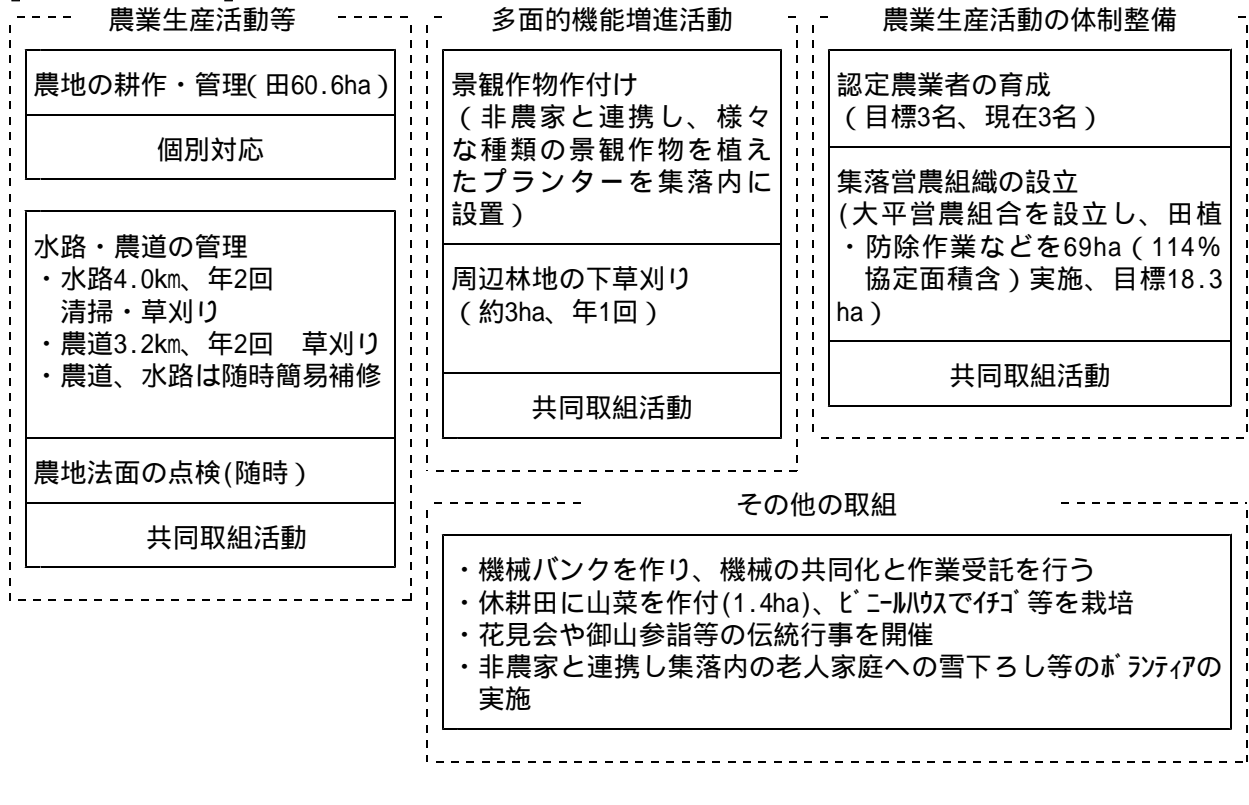
当集落の農産物の生産・販売を高め、担い手の育成、集落営農組織を設立したのち、法人化を目指すなど集落の活性化に努めていく。また、地域住民や他集落と連携して景観整備活動や伝統行事の開催などにより交流を深めることとしている。



### [ 将来像を実現するための活動目標 ]

集落営農の体制づくりを目指し、作業受託の推進  
生産性及び所得の向上に向けた高付加価値型農業の実践  
地域住民等と連携した農業生産活動や伝統行事による地域の活性化

### [ 活 動 内 容 ]



## 4 . 取組による変化と今後の課題等

非農家と連携して行っているボランティア活動や、「御山参詣」や花見会を復活させたことにより、集落協定締結以降、集落内の結びつきは一層強固なものとなっている。

一方、当集落は女性が多く、機械を扱える人が少ないことから、オペレーターの育成が急務である。

### [ 平成20年度までの主な成果 ]

集落営農組織の設立(平成19年3月に農作業受託組織「大平営農組合(農家数39戸)」を設立)  
担い手の確保のため、認定農業者の育成(当初2名、目標3名、H20実績3名)

高付加価値農業の実践

- ・休耕田に山菜(ふき、ミズ、うど等)を栽培(当初0ha、目標1.4ha、H20実績1.4ha)
- ・休耕田に設置したビニールハウスでいちごを栽培(20a)し、契約先の青果業者に出荷

非農家・他集落との連携

- ・平成12年から途絶えていた伝統行事「御山参詣」を20年に復活させ、集落出身者を中心に約50名の参加があった。